



「より速く、より高く、より強く」
って何だ！





強さは評価されない“強い女性” — メディアのつくる女性アスリート像

飯田貴子（帝塚山学院大学名誉教授）

研究分野は、スポーツ社会学、ジェンダー研究。

共著「21世紀スポーツ大事典」大修館書店／「新編 日本のフェミニズム8 ジェンダーと教育」岩波書店、編著「よくわかるスポーツとジェンダー」ミネルヴァ書房／「スポーツ・ジェンダー学への招待」明石書店、監訳「フェミニズム・スポーツ・身体」世界思想社など多数。

20年程前、女子柔道52kg級で活躍した榎崎（旧姓菅原）教子選手の新聞記事（テキスト）を分析しました。彼女は、父親が主宰する道場で柔道を始め、1996年アトランタ五輪で3位、1997年結婚、1999年世界選手権優勝、2000年シドニー五輪2位という成績を残しました。アトランタ五輪では「父と娘」、世界柔道では「夫と妻」、シドニー五輪では「スポーツも家庭も」と表象されていました。つまり一連の記事は、彼女は常に男性に支えられている異性愛の女性であり、「仕事も家庭も」という女性の新性別役割分担を構築し普遍化していくプロセスを物語っていました。このように女性の競技能力を矮小化させ、家父長制社会を永續させるのに有効で安全な女性選手を描写する記事は、男性の記者によって書かれていました。女性記者による記事は、1本だけでしたが、不安を乗り越え再度五輪に挑む自立した女性選手の姿を描いていました。大見出し「迷いはらい銅から銀」も、男性記者による「夫婦三脚」「ミセス」「家事と両立」を含む見出しとは異なっていました。

大手新聞社三社を対象にした2016年の調査では、スポーツ部の女性比率は、記者で13.7%、デスクで6.8%、部長では0%というものでした。20年経ても、送り手の変化は遅々たるものです。これでは女性の視点から書かれた記事が数少ないのも仕方ありません。

榎崎選手の記事に対しては、オーディエンス研究も行いました。読み手は、自分の経験に照らして、テキストを受けとめます。ですから、「家事と両立連続メダル」「子どもを産んでも…女性らエール」の記事を読み、榎崎選手の偉大さを讃えます。実際、家事などしてはメダルに手が届かないことは明白です。しかし、多くの人々はこの記事に埋め込まれた優先的／支配的な読みを受け入れるため、結婚をし



13



て、夫の姓を名乗り、家事も育児も引き受けて、仕事も立派にこなす女性が称賛されるのだという規範をつくっていくのです。

テレビスポーツデータ一年鑑によると、報道量ランキング40位内に入る女性は、2016年は13人、2017年は9人です。2016年に女性が多かったのは、リオ五輪の影響です。女性選手たちは、五輪開催年でも競技をしているのですが、マスメディアに取り上げられることが少ないのです。この傾向は世界的なものです。女性選手はナショナルなものを背負って競技している場合に注目されるのです。

活躍した選手は、CMに起用されます。CMで、男性選手と女性選手がどのように描写されているかも調査しました。男性選手は、競技の特徴が映像化されているのに対し、女性選手は若さや美しさが強調されているのが多々見られます。

代表的なのは寝具メーカー（2015）、真っ青の空をバックに力強くラケットを振る『進化篇』の錦織圭選手に対し、『京都～京舞』の浅田真央選手は舞妓姿に変身し、はんなりと日本舞踊を披露していました。一方、霊長類最強女子と呼ばれている吉田沙保里選手の代表的な警備会社のCM（2013～2014）では、彼女の強さや逞しさがストレートに表現されず、笑いやユーモラスを付加することにより、女性選手の強さへのからかいを暗示していました。

最近、テレビでよく流されているのが、ヨーグルト飲料のCMです。CMでは、吉田沙保里選手とサッカー界のレジェンド澤穂希さんが新ママを演じています。世界大会13連覇の偉業を達成し、国民栄誉賞に輝く男性選手が、現実ではそうではないのにCMでパパとなって、家族の体調を願う役回りを演じることなどあるでしょうか。

ここにあげたのは、ジェンダーバイアスに満ち溢れたメディアのほんの一例です。けれどもこの記事が、ジェンダー規範の構築にメディアが一役買っていることへの理解に役立ち、メディアを批判的に読み解くことにより、多様な生き方を認め合う社会の形成に貢献できることを願っています。



14



《関連本・DVD の紹介》 ウェブ所蔵図書



「よくわかる スポーツとジェンダー」

飯田貴子・熊安貴美江・
来田享子編著
／ミネルヴァ書房／2018



「データでみる スポーツとジェンダー」

日本スポーツとジェンダー学会編
／八千代出版／2016



DVD

「ブルークラッシュ」

アメリカ／104分／2002



DVD

「オフサイド・ガールズ」

イラン／92分／2006

ウェブ

【図書・資料コーナー】

男女共同参画に関する情報を収集し、提供しています。

□貸出：月～土 10:00～17:15

図書・雑誌…5冊2週間

ビデオ・DVD…1本2週間

(ただし、資料整理期間、休日、祝日、

12月29日～1月3日は除く)

【女性のための相談室】

□電話相談：0798-64-9499

月・木／10:00～16:00／一人40分程度

□面接相談：要予約／火・水・土

10:00～16:30／一人50分

□法律相談：要予約／第3金

14:00～17:00／一人30分

【女性のためのチャレンジ相談】

再就職・起業・地域貢献の実現に向けたアドバイス、ニーズに応じた支援施設の紹介など、キャリアコンサルタントによる相談です

□面接相談：要予約

第2火(偶数月)／10:00～12:00

第3水(奇数月)／13:00～16:00

一人50分／託児付き

※相談予約 0798-64-9498(月～土／9:00～17:15)

(ただし、休日、祝日、12月29日～1月3日は除く)



西宮交流フェスティバル 一緒にしよう! みんなのスポーツ

年齢、性別、障害に関わらず、気軽にスポーツ体験を楽しんでいただくイベントです。詳細は市政ニュース、HP等でお知らせします。

(スポーツ推進課：0798-35-3567)

女性とスポーツ

「より速く、より高く、より強く」って何だ!

発行：西宮市男女共同参画センター ウェーブ

〒663-8204

西宮市高松町4-8 プレラにしのみや4F

TEL.0798-64-9495 FAX.0798-64-9496

http://www.nishi.or.jp/navi/ln_0009600000.html

<https://www.facebook.com/nishi.wave/>

発行日：平成31(2019)年3月

イラスト：宮武小鈴